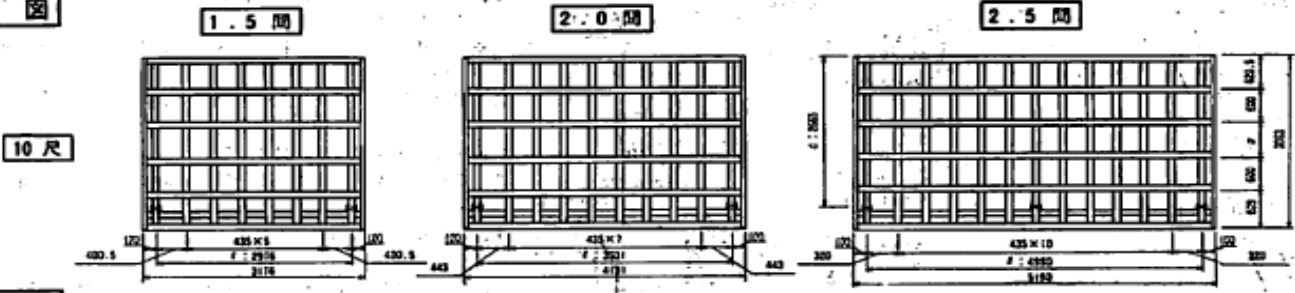


新日産大型テラスG型取付説明書

型番 NM-407

姿 図



波板枚数

6枚

7枚

9枚

※波板は32波のJIS規格品を使用して下さい。

重ね山数

4.5~5.5山

2.5山

2.5~3.5山

製品規格表

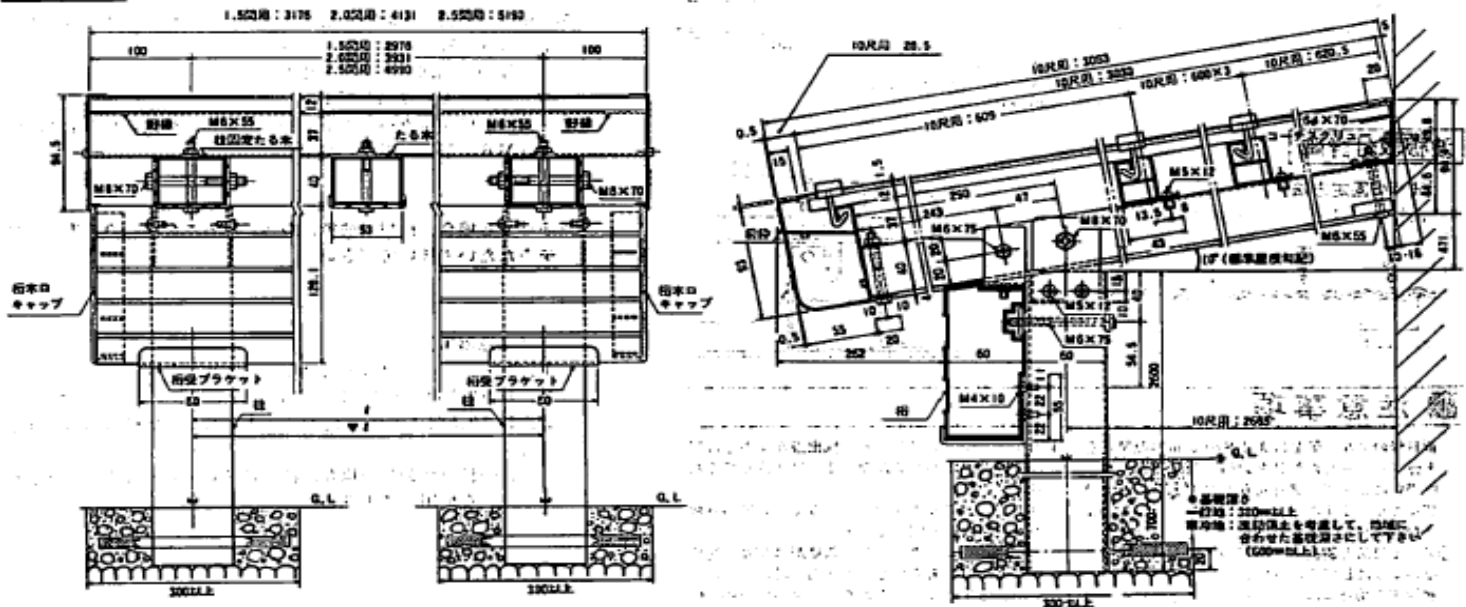
※本規格表はシルバーの記号です。詳しくはカタログを御覧下さい。色はシルバー・カラーが用意しております。

名 称	高	1.5 間	2.0 間	2.5 間	材料明細
欄 材	10尺	GTY1510W	GTY2010W	GTY2510W	野 縁 (1) 野 縁 (4) たる木(げ) (1) 柱 (1)
縦 材	10尺	GTT1510	GTT2010	GTT2510	隅付 (2) (左右各1) 柱固定たる木 (2,3) たる木 (6, 8, 10)
連結用縦材	10尺	GTRT1510	GTRT2010		柱固定たる木 (1) たる木 (6, 8)
柱	2本入	NTP 25			柱 (2)
	1本入	or IS			柱 (1)

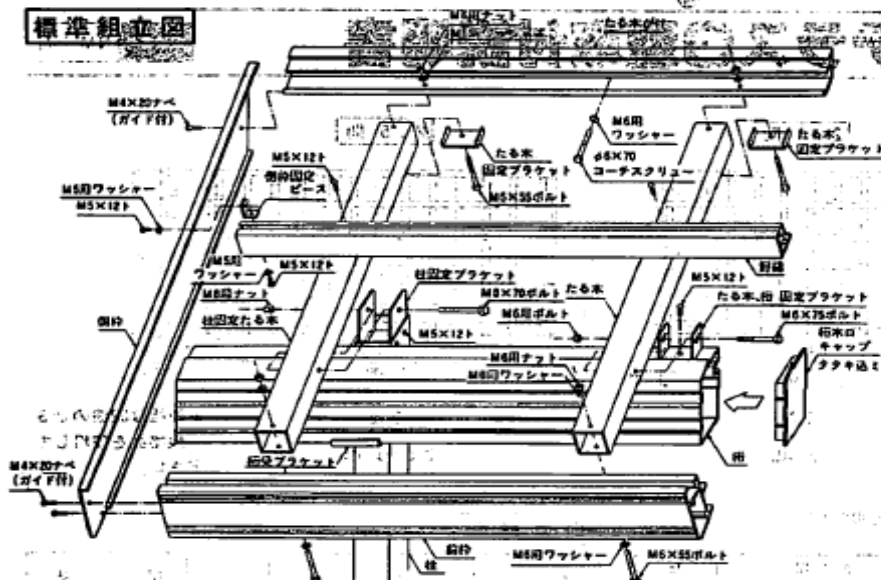
別売部品

名 称	シルバー	カラー	明 細
物干金物	TBOX5		物干金物 (4本) ビス入り
バルコニー・テラス用 目隠	CTBOX6 HTBOX6	CTBOX6	立 隠 (1) (4本入) 1梱包
バルコニー・テラス用 取手	CTBOX17 HTBOX17	CTBOX17	取手 (4セット入) 1梱包
フックセット	TBOX 11		100個入
ハンガーフック付 物干セット	TBOX12		2本入

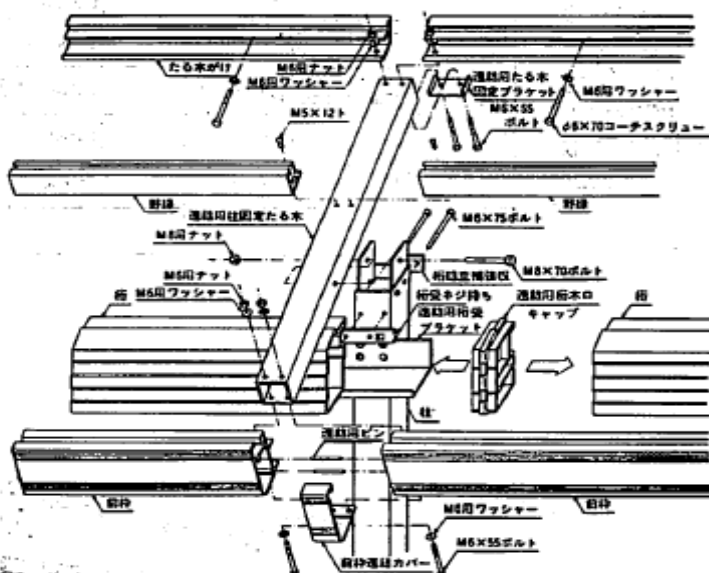
基本図



標準組立図

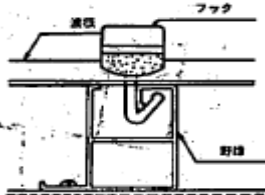


連結部組立図



波板取付詳細

波板の固定方法
波板は野縁と前枠にフック止めます。



注意事項

新日種のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異常腐食をおこしお困りトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点を注意してください。

- ①アルミ製品と銅板やガラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- ②輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますのでその使用は避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- ③モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。

- ④モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を濡れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやひら等の外観不良や腐食の原因になります。
- ⑤モルタルやコンクリートの最終固結期は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硫酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- ⑥施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- ⑦腐食の恐れのある接触期や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に発生してください。

新日種テラスG型取付説明書

取付固定方法(標準組立図)

1. たる木かけの取付高さを決めコーナースクリュー(φ6×70)で固定して下さい。
2. 柱に柱固定ブラケットをビス(M5×12ト)で桁受ブラケットをビス(M4×10皿)で固定し、柱の柱固定ブラケットと柱固定たる木をボルト(M8×70)で固定して下さい。
3. 2をたる木かけにボルト(M6×55)と、たる木固定ブラケットで固定して下さい。
4. 桁にたる木桁固定ブラケットをビス(M5×12ト)で固定して下さい。
5. 桁の溝に桁受ネジ持ちを入れ柱にボルト(M6×75)で固定して下さい。
6. 桁は柱に固定した後、桁木ロキャップを差し込んで下さい。
7. たる木をたる木かけと桁にボルト(M6×55・M6×75)で固定して下さい。
8. 前枠のチェーンを取り付ける方の孔(キバンチ)をたないて抜いて下さい。
9. 前枠をたる木と柱固定たる木にボルト(M6×55)で固定して下さい。
10. 野縁をたる木と柱固定たる木にビス(M5×12ト)で固定して下さい。
11. 側枠をたる木かけと前枠にビス(M4×20)で、野縁に側枠固定ビスとビス(M5×12ト)でそれぞれ固定して下さい。
12. 波板をのせたる木かけに差し込み野縁の所に5mmの孔をあけてフックで固定して下さい。
13. 8の孔にチェーンを取付けて下さい。

連結部の組み方(連結部組立図)

- ① 柱に連結用桁受ブラケットをビス(M4×10皿)で固定して下さい。
- ② 柱の柱固定ブラケットに連結用柱固定たる木をボルト(M8×70)で固定して下さい。
- ③ 2をたる木かけにたる木連結用固定ブラケットとボルト(M6×55)で固定して下さい。
- ④ 片方の桁に桁受ネジ持ちを入れてから連結用桁木ロキャップを差し込み連結して下さい。
- ⑤ 桁受ネジ持ちを両方の桁の中間に戻し、桁組立補強板とボルト(M6×75)で固定して下さい。
- ⑥ 前枠の連結部に連結ピン2本を差し込み(片側をカシメル)、コーキングをし連結して下さい。
- ⑦ ④は前枠連結カバーをかぶせて、連結用柱固定たる木にボルト(M6×55)で固定して下さい。

※連結する場合、横材(前枠、野縁、たる木かけ)の半抜きパンチをたないて抜いて下さい。

【注意事項】

1. バルコニーには取り付けないで下さい。
2. 長さ2.5間のテラスは、必ず柱を3本使用して下さい。
3. 長さ2.5間のテラスは、たる木1本分までは柱の移動が可能です。
注…柱を移動した場合、柱に付けるたる木は柱固定たる木を使用して下さい。

ご注意：大型テラスは積置では使用できません。